

第 3 回にかほ市地域公共交通活性化協議会
会 議 録

(午後 1 時 3 0 分開会)

事務局 (加藤まちづくり推進課長)	皆様お疲れ様でございます。ご案内の時間になりましたので、ただ今から令和 3 年度第 3 回にかほ市地域公共交通活性化協議会を開会致します。 本協議会の開催状況につきまして、本日が本年度第 3 回目の開催となりますが、過去 2 回の開催につきましては書面による表決としたために、対面による開催は本年度初めてとなります。委員の皆様の中には、人事異動や役員改選等によりまして、新たに委員となられた方もおりますが、委員の紹介に関しましては、お時間の関係上省かせていただきたいと思います。ついては、次第の委員名簿にてご紹介に代えさせていただきますので、ご了承ください。 また、本日ご出席されている委員は 22 名となっており、次第の出席名簿に記載しておりますので、ご確認いただければと思います。 なお、皆様方のお席については、新型コロナウイルス感染症予防対策として、委員の皆様同士の間隔を確保したうえで、本会を開催いたしますことをご理解くださるようお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして会長であります本田にかほ市副市長がご挨拶申し上げます。
本田会長	～会長あいさつ～
事務局 (加藤まちづくり推進課長)	ありがとうございました。 これからは議事の審議となりますが、規約第 9 条第 1 項の規定により、会長が議長となりますので、このあとの進行につきましては、会長よりお願い致します。
本田会長	それでは、規約に従いまして、私が議長を務めさせていただきますので、しばらくの間どうぞご協力をよろしくお願い致します。 まず始めに、本日の会議ですが、出席頂いている委員の人数は現時点で 22 名となっております。過半数に達しておりますので、規約第 9 条第 2 項により、会議は成立しておりますことをご報告致します。 それでは議事に入ります。議案第 1 号「にかほ市公共交通計画について」事務局より説明をお願い致します。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	事務局説明
本田会長	ありがとうございました。それでは、ただ今の議案第 1 号について、ご質問やご意見、確認事項等ございましたらお願い致します。
加藤委員	資料 2 の 1 枚目にある地域公共交通の現状・問題点の中にある「特に中山間地は人口減少傾向にあり、早急に見直しが必要」に関して、コミュニティバスの再編は、今後何年後を考えているか教えて欲しい。

	また、去年の 10 月末、急に雪が降ってコミュニティバスで仁賀保高原の坂を上れなかった。朝方だったので子供たちの授業に遅れたという話であった。そこで、個人的な意見であるが、四駆のバスを導入は考えていないのかを教えて欲しい。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	計画自体は、令和 4 年度に策定のため、検討を開始し早ければ令和 5 年度から実証運行が開始出来ればと考えております。 また、2 つ目のご意見に関してですが、急な降雪であり、除雪の対応が出来ずコミュニティバスが遅延してしまいました。そのような遅延情報を確認できるように、バスの運行状況を示すバスロケーションシステムを導入したので、活用していただき遅延に対する対応を利用者をお願いしたいと思っております。 車両については、すぐに導入することは中々厳しいところですので、コミュニティバスの再編を進めていく中で、車両についても検討したいと思います。
本田会長	除雪に関しては、担当する建設部にも申し送りをさせていただきます。その他、ご意見やご質問はありますか。
清水委員	資料 2 に関しては、弊社でも考えていた内容に近いので概ね、この内容で間違っていないと思います。 1 点確認があり、資料 1－2 に関しては弊社で公表している 1 日あたりの乗車人員を活用しているという理解で良いですか？ また、文面をみると、平成 17 年に発生した「特急いなほ」の事故の影響が考えられるとあるが、影響は少ないと考える。どちらかというと風規制による見直しを行っています。そのほか、直接影響あるかどうか不明であるが寝台列車の廃止もある。路線自体は生活利用が多いかと思うが、コロナ禍の影響もあまり多くないと思うので、そうなると分析後の文章を見直した方が良いかと思うので、この後、文面については検討させていただきたい。
KCS	人数については、JR で公表されている各駅の乗車人数を活用しております。また、ご指摘のあった部分については、現時点で回答出来ない内容でありますので、この後改めてご相談させていただきます。
	その他、ご意見・ご質問があればお願いします。
吉尾委員	秋田県でも今年度交通計画を策定します。今年、法改正の影響も大きいと思うが県内市町村でも交通計画策定の動きがあります。 県の計画の意向を踏まえた内容かと思う。特にデジタル化は、連携して進めて行く旨の内容が記載されていますので、計画を実行していく中でも引き続き宜しくお願ひしたい。 その他、にかほ市の公共交通の特徴について、交通軸は、羽後交通と JR があり、市内の交通はコミュニティバスがある。コミュニティバスは市で運営している。運行内容についても適宜見直しを図り、利便性の向上や効率的な運行に向けた取組みがなされています。しかし、利用者数の増加には繋がっていないことから厳しさは増していると思います。

	については、今回の調査の結果をうまく活用し、路線再編に活かしていただき、アンケート以外にヒアリングすることも必要かと思います。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	今回の調査から利用実態がみえてきましたので、今後のダイヤ改正に活かしていきたいと思います。 また、実際のコミュニティバス利用者とのヒアリングを1月以降に行っていきたいと考えておりました。ヒアリングした結果も次期計画に活かしていきたいと思います。
鈴木委員	今回、細かい調査をしていただき、ありがとうございます。計画素案が出来たら概要チェックさせていただきたいと思います。 秋田県全体に共通することであるが、秋田県は通学時の送迎が多い傾向にあり、公共交通の利用者を増やしていくためには、家族送迎の転換も重要なポイントかと思います。公共交通を利用できる環境でありながら送迎に頼っている場合は、転換出来れば公共交通の確保・維持に繋がると考えます。 利用促進策に力を入れるとともに、新規需要の掘り起こしが出来れば良いかと思います。何よりも公共交通を使うという取組ができれば高校生の利用にも繋がっていくかと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。
本田会長	公共交通が持続することで、市民の日常生活も持続するので持ちつ持たれつの関係かと思います。また、公共交通へ転換することでCO2削減にも貢献できると思いますので、今回の計画でCO2削減にもつながる施策を盛り込めれば良いかと思います。 その他、委員の皆様からご意見・ご質問ございますか。もしなければですが、後日で構いませんので、事務局にご意見を寄せていただければと思います。 それではこの議案第1号につきまして、承認ということで宜しいでしょうか。
	～異議なしの声～
本田会長	ありがとうございました。 それでは議案第1号はご承認とさせていただきます。 次に、議案第2号「コミュニティバス停留所の移設について」事務局より説明をお願いします。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	事務局説明
本田会長	ありがとうございました。それでは、事務局から説明がございました議案第2号「コミュニティバス停留所の移設について」ご意見、ご質問、確認事項等ございましたら発言をお願い致します。
鈴木委員	今の事務局の説明に関して補足ですが、全国的に安全対策が必要なバス停に対策を講じて参りましょうというものです。秋田県内にはまだまだ危険なバス停があり、そのようなバス停に対して対応してい

	たいと思っております。にかほ市は、速やかに対応いただき感謝申し上げます。その他のバス停につきましても、同様に安全対策を講じて欲しいと思います。
鎌田委員	2点質問ですが、1つ目は上下にバス停が1ヵ所ずつあるかと思いますが、もう一つはどこにあるのか教えてください。 2つ目は、バス停の設置基準と照らした見直しかと思いますが、フリー乗降区間についての対応も教えていただきたい。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	市内のバス停は、標識が1ヵ所ずつとなっております。バス停標識の対面が反対側のバス停となります。 また、フリー乗降区間についても、交差点や横断歩道付近で停車出来ないことになっており、安全面を確保できる場所での乗降となります。
鈴木委員	少し補足すると、国や道路管理者等の関係部署が事前に確認した上でバス停設置をします。フリー区間について同様に事前に確認して運行しています。
本田会長	その他ございませんか。 無いようであれば、議案第2号についても承認で宜しいでしょうか。
	～異議なしの声～
本田会長	ありがとうございます。それでは議案第2号「コミュニティバス停留所の移設について」はご承認とさせていただきます。 議事につきましては、皆様のご協力を得まして以上とさせていただきます。それではここで、「その他」に移ります。この機会ですので、ご出席の皆様から関係のあることがございましたら、ご発言をいただきたいと思いますと思いますが、何かありますでしょうか。
	～特になし～
本田会長	特に無いようですので、事務局から何か連絡事項がありましたらお願いします。
事務局(まちづくり推進課佐々木主査)	それでは、その他としまして2点ほどご報告いたします。 1点目が、バスロケーションシステムについてです。コミュニティバスにIP無線を搭載しており、IP無線からバスの位置情報を取得し、地図上に表示することで、コミュニティバスの位置情報を閲覧できるシステムです。お手元資料のQRコードを読み取り、対象の路線を選択することで表示されます。コミュニティバス利用者の大半は高齢者なので、需要の予測が難しいですが、昨年度実証実験を行い、一定の利用者数が見られたため、今回導入することと致しました。なお、周知に関して、1月15日号広報で周知することとしております。 2点目については、バス・タクシーおでかけ支援クーポンについてです。今年10月から実施しておりました。実施目的として、コロナ禍の影響による利用低迷に対する利用促進策として、路線バス、タク

	シーを対象としたクーポン券となっております。詳細に関しては、お手元のチラシを参照ください。事務局からは以上です。
本田会長	今の説明について何か皆様から質問等ありますでしょうか。
吉尾委員	バスロケについてですが、秋田県内でも少しずつ導入が広まっておりますが、コミュニティバスでのバスロケを導入する事例は県内初かと思うので、広報でしっかりとPRしていただき、多くの方に利用していただきたいと思います。
辻委員	バスロケは今の時代に合っており、良い施策かと思います。今後利用者へアンケートを実施して欲しいです。利用者の大半が高齢者だとすると、スマートフォン自体を所有していない方も大勢いるかと思います。良いシステムを導入しても利用されなければ、その効果を発揮できないため、アンケートを通してバスロケの利用者を把握して欲しいと思います。
本田会長	委員からアンケート調査の必要性について指摘がありました。高齢者は確かにスマートフォンを所有していないかもしれないが、家族等が間接的にバスロケを使い、ご高齢の利用者へ共有するといった方法もあるかと思うが、アンケート調査の実施に関しては、事務局で検討していただきたいと思います。 他にありませんか。
	～特になし～
本田会長	それではこれもちまして第3回にかほ市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。お帰りの際は、事故等に十分ご注意くださいようお願いします。本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。

(午後2時56分閉会)